

ふれあいと 対話が築く 明るい社会

照会先 福祉政策課 ☎ 23-9349

7月は「社会を明るくする運動」 強調月間です

「社会を明るくする運動」は、すべての国民が、犯罪や非行の防止と罪を犯した人たちの更生について理解を深め、それぞれの立場において力を合わせ、犯罪や非行のない明るい社会を築こうとする全国的な運動です。

気軽にご相談を

犯罪や非行予防、更生保護に関する相談を保護司が行っています。秘密は必ず守られますので、気軽に相談ください。(来訪の際は、事前に連絡してください。)

相談員の皆さん		—敬称略—	
氏名	住所	電話	
宮本 純	下有知	22-3642	
伊佐地 金嗣	鑄物師屋	22-3485	
山下 英二	洞戸市場	(0581)58-2016	
足立 勝	小瀬	22-2644	
吉田 弘司	平和通	22-0630	
塚原 孝子	仲町	22-8642	
市村 博之	清蔵寺	22-3241	
小川 信夫	小迫間	22-2193	
木戸 道子	中福野町	24-1618	
森 學	新田	22-3627	
酒井 啓道	上之保	47-2638	
亀山 静子	東仙房	23-0399	
長屋 長久	板取	(0581)57-6733	
紀藤 昌行	東日吉町	22-0858	
大野 恭三	小野	29-0532	
亀山 良平	小屋名	28-3257	
國光 正宏	下之保	49-2048	
平田 良雄	西田原	24-5443	
長尾 嘉市	富之保	49-2911	
早川 弘昭	鑄物師屋	22-6044	
平田 公二	小瀬	23-0449	
安田 好良	常盤町	22-0992	
森 とき枝	下白金	28-4164	
武藤 孝恵	武芸川	46-2138	
吉田 正道	武芸川	46-3263	
清水 善光	吉田町	22-0563	
清水 宗夫	十軒町	22-3617	
河村 登志子	旭ヶ丘	22-8282	
小澤 咲枝	上白金	28-2634	
水口 勲	豊岡町	23-2018	
尾口 文良	下有知	22-3718	
日野 安晃	朝倉町	22-6017	

運動の始まり

戦後間もないころ、貧困を原因の一つとする子どもたちの非行が、大きな社会問題になっていました。昭和24年7月、東京・銀座商店街の延べ2000人もの人々が立ち上がり、「不幸な子ども達を救いませう」の看板を掲げ、犯罪予防と少年保護を訴える「銀座フェア」を開催。この市民運動がきっかけとなり、「社会を明るくする運動」が始まりました。

地域社会で子どもたちを守る

ここ数年、少年による凶悪重大な事

件が相次ぎ、また、いじめ、不登校、ひきこもりなどのさまざまな問題が起

こっています。一方、子どもたちが性犯罪や児童虐待など、悲しい事件の被害者となってしまふ、何ともやりきれない事件が起こっているのも実情です。

次代を担う子どもたちを非行や犯罪から守るためには、地域社会が一体となって、社会環境の浄化に取り組むことが大切です。

地域社会が更生を助ける

犯罪を犯した人や非行に陥った少年もいずれば地域に戻り、地域の一員として生活していくこととなります。更

「いきいき」した

明るい地域社会を

生と社会復帰を図るためには、本人の強い意志とともに、家庭や職場、学校、地域の方々の理解と協力が不可欠となります。この理解と協力は、犯罪や非行の原因、背景に対する認識を深め、防止にもつながるはずで

「いきいき」と心豊かに暮らせることは、だれもが持つ共通の願いのはずです。人と人、心と心が触れ合うことのできる地域社会づくりが大切です。